



地域おこし協力隊
井下友梨花さん

ひらめきが生まれる瞬間

皆さんは、どんな時に「良いこと
思いついた!」となりますか。私は、
難しい顔して考える時よりも、例え
ば友人とランチしている時、お風呂
に漬かっている時など、余白・遊び
の時間帯にひらめくことが多いです。
益城町にいて感じるのは、復旧・
復興の途中で、計画を立てたり、何
かを決めなければならなかったり、
目的を強く持たねばならない会議が
多いことです。もっと目的のない、
余白・遊びのある集まりがあったら、
色んなひらめきが生まれて楽しいの
ではないか。そんな思いで6月に、
町にゆかりある3人で「ましき未来
カフェ夏」を実施。中学生を含む約
30人が参加してくれました。これ
からも、益城
町が遊びの生
まれる場所であ
ってほしい
です。



地域おこし協力隊
吉海雄大さん

イメージの基準点をみんなで探る

早いもので着任してから半年が経
過しました。私のコラムも2回目。
できるだけ断片的な話にならないよ
うな執筆に努めます。
前は、日常の対話が協力隊の制
作や実践にどのようにつながってい
るのかを書きました。現在も活動の
場に多く恵まれ、取り組みが継続で
きていることを幸せに感じています。
さて、『イメージの基準点』に触れ、
コラムをまとめます。活動を始めて
半年、驚くのは「町を良くしたい」と
いう思いの矢印が無数に存在し、強
さ、長さ、向きが異なり、とてもす
てきだということ。一方、たくさん
の矢印を束ねたイメージを作り、基
準点を確かめていく取り組みも必要
です。みんなで「いいな」と共感でき
るものを目指す手段として、にじい
ろ周辺をイメージしてみました。す
てきな未来を考えるきっかけの場と
して、にじいろをご活用ください。

広報クイズ

ただ正しいもの、または問題本文の中の○に当てはまるものを選択し、記号で回答してください。全問正解者中10人に、500円分の図書カードをプレゼント!

問題1 ヒント…P4～7

11月19日、里親家庭の体験談を聞ける「里親○○○○会」が開催される。

- A…きらきら B…たいけん
C…おためし D…おはなし

問題2 ヒント…P16・17

10月3日から、より便利になる福田地区乗合タクシー。指定停留所は何カ所増える?

- A…3 B…4
C…9 D…13

問題3 ヒント…P35

骨量のピークは、男女とも○代といわれている。

- A…10 B…20
C…30 D…40

応募方法

回答フォーム →



または、
はがきに答えと住所、氏名を記入し、〒861-2295 益城町役場「広報クイズ」係へ。

応募締切日…10月11日必着

前月号の正解…①-B ②-D ③-B

当選者(敬称略)…中村舞子、青木敏子、田川尚子、坂本みどり、浅生裕加里、坂元真弓、廣瀬樹子、臼木莉乃、桑原朱音、緒方和香

応募総数…94通 全問正解数…88通

イラスト・絵手紙

イラスト
ありがとうございます!

広崎 瀬戸サイ子



絵手紙
ありがとうございます!

安永 吉安啓子